

高齢者を温かく見守るまちづくりの実現のために

答弁 笹本孝幸が問う



地元野菜の無人販売コーナーの設置が期待される東小川のふれあいプラザ。



パトリアおがわでは「障害者レク・スポーツ交流会」が長年続いている。



小川高校南側の町道5090号線。
「北口開設」までの道のりは険しい……。

高齢者にやさしい買い物支援対策を買い物支援対策を

答弁 公共施設での野菜販売は可能です

Q 国道254号線の北側に位置する東小川5丁目・6丁目の住民のために、ふれあいプラザ内に野菜の無人販売コーナー設置の可能性は。

A 長生き支援課長 指定管理という条件の中で、町長の許可、管理者との合意が得られれば可能だと思われます。当町内の他公共施設でも実現できれば、高齢者にとって買い物支援になるのです。

Q 長生き支援課長 過去にもパトリアで野菜の販売をした事業者がいましたが撤退した事例もあり、関係部署で検討する必要があります。

役場等以外での公的書類発行は

A 町民課長 コンビニでの公的書類の発行には、マイナンバーカードの登録が必要です。当町での登録状況は14%となつており、今後、状況を見て、必要かどうか検討します。

Q 近隣町村を見ると、令和元年12月から寄居町でコンビニでの公的書類の発行が始まるが、当町での役場等以外での窓口開設は。

A 生涯学習課長 町スポーツ協会やレクリエーション協会などと連携し、障害者の参加促進に努力します。

地域防災組織の育成を

Q 各地域では、台風19号発生時の避難や後始末など、防災組織の有無にかかわらずさまざまな行動が見られた。自主防災組織の現状と課題は何か。

A 防災地域支援課長 大雨時の自主防災組織の活動事例を紹介するなど、基本的な活動方法を示す必要があります。また、活動に欠かせない資機材整備に対する補助金、機材の貸し出しなど環境整備を図ります。

地域スポーツに障害者の参加を進に努力します

答弁 協会と連携し促進に努力します

Q 障害者の社会参加について、どのように考えているのか。

A 健康福祉課長 障害のある人の社会参加は、地域社会との交流や障害に対する理解が深まることがあります。東京2020オリンピックを契機に、地区民体育祭などを町が目標するノーマライゼーション2018の具体的な取り組みの場にできないか。障害者の生涯スポーツへの参加促進をどのように図るのか。

次年度一般会計における予算編成は分野を定めました

答弁 主に3点の重点方針は。

Q 次年度の一般会計に係る予算編成の方針は、「政策推進課長」「地方創生の深化」「安全・安心の推進」「都市基盤の整備」の3点を重点分野として定めました。また、編成に係る考え方として、事務事業の選択と集中による歳出の重点化・民間活力の導入・スクラップ＆ビルド3による財源の捻出等を掲げています。

Q 第2期地方創生としての事業展開は。

A 政策推進課長 「おがわ学」への取り組みをはじめ、新たな視点を意識した事業展開を予定しています。

Q 町長が公約として示した事業の進捗は。

A 町長ほか 関連する事業の1つに「駅北側整備事業」があります。「これは、町の重点事業と位置づけて取り組んでいるもので、現在は小川高校南側に位置する町道5090号線の拡幅について、県教育局や小川高校と協議しています。また、「防災力の強化」については、消防団第1分団第4部の詰所が、次年度に完成の予定となっています。

答弁 高瀬勉が問う



共生を目指し、具体的な活動を提案します



次代にツケを残す予算は勘弁してください



答弁 笹本孝幸が問う

高齢者を温かく見守るまちづくりの実現のために

解説 スクラップ&ビルド3

現在行っている事業を精査して、時代的使命を終えた事業や費用対効果の低い事業を廃止（スクラップ）して、今の時代に必要な事業や費用対効果の高い事業を新たに築き上げる（ビルド）こと。

解説 ノーマライゼーション2

障害のある人が障害のない人と同等に生活し、ともにいきいきと活動する社会を目指す理念のこと。町は障害者福祉の向上と地域のノーマライゼーションの実現を図るために、「おがわノーマライゼーション2018」を策定している。



おがわノーマライゼーション2018